

Course N@vi Ver.2.0.0 のリリースについて

授業支援ポータル Waseda-net Course N@vi (以下 Course N@vi) は 2007 年 4 月のリリース以降、多くの授業で活用されています。このたび、よりいっそう便利にご利用いただくために、利用者からの要望等を反映し機能の追加・改善をおこないましたのでお知らせいたします。

【教】は担当教員モードのみ対象、**【学】**は履修者画面および履修者モードのみ対象、表記なしは共通。

1. 出席状況の登録

Course N@vi 上で出席状況を登録できるようになりました。

カードリーダーなどと連携した自動反映機能には未対応

- 履修者の授業出席状況を登録できるようになりました。**【教】**
- 画面から個別に更新する方法と、ダウンロードした CSV ファイルを編集し、一括してアップロードする方法を利用できます。**【教】**
- 出席状況を評価要素のひとつとして評価の自動計算をおこなうことができます。**【教】**
- 教員が公開した出席状況を閲覧することができます。**【学】**

【出席状況管理画面】

登録者全選択	主登録者全選択	全削除
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1. 早稲田_1節(OX1452)	出席	個人別出席状況
2. 早稲田_2節(OX1453)	遅刻	個人別出席状況
3. 早稲田_3節(OX1454)	遅刻	個人別出席状況
4. 早稲田_4節(OX1455)	出欠未登録 出席	個人別出席状況
5. 早稲田_5節(OX1456)	早退 欠席	個人別出席状況
6. 早稲田_6節(OX1457)	出席	個人別出席状況

2. 個人設定

画面表示やメール受信設定等を個人ごとに設定できるようになりました。

- 一覧画面表示をカスタマイズすることができるようになりました。利用期間が終了したコンテンツや既読(既解答、既提出)コンテンツを非表示にすることが可能です。非表示にしたコンテンツは一覧画面上で「表示指定解除」のボタンを押すことにより一時的に表示することが可能です。
- 各種メールの受信設定を変更することが可能です。
- 一覧画面(ディスカッションを含む)で1ページに表示する件数を指定することが可能です。
- ToDoリストに表示する課題の種別を選択することが可能です。

【個人設定画面】

個人設定情報を入力して、[更新]ボタンをクリックしてください。

一覧表示設定

利用期間終了のコンテンツの一覧表示 する しない
「しない」に設定した場合、講義一覧にて設定内容を解除することが可能です。

受講済/実施済のコンテンツの表示 する しない
「しない」に設定した場合、講義一覧にて設定内容を解除することが可能です。

1ページ表示上限 20件

ディスカッション一覧表示の形式 タイトル表示(発言順) タイトル表示(新着順) 全文表示(発言順) (文表示(新着順) 新着順

ディスカッション1ページ表示上限 5件
上記件数は「新規投稿」の件数のみ。「返信」の件数は含みません。

ToDoリスト表示設定

ToDoリスト一覧表示順 締め切り順 講義一覧順

* ToDoリスト表示対象コンテンツ お知らせ レポート 小テスト オンデマンドコンテンツ 資料コンテンツ
ディスカッション

3. 科目初期値設定 **【教】**

- 新規にコンテンツを登録する際に指定する各項目について、科目ごとに共通の初期値を設定することが可能となりました。例えば、お知らせのメール送信はシステムの規定値は「送信しない」となっていますが、科目初期値設定で「メール送信する」を設定することにより新規作成時の初期値が「メール送信する」となりますので、送信漏れを防ぐことが出来ます。

4. なお、各項目は設定画面にて初期値から変更して登録することが可能です。**メール機能強化**

➤ より効率的にご利用いただくために以下のメール機能を追加しました。【学】

- ◇ **課題提出確認メール** : レポートの提出や小テストの解答等を受け付けたことをメールで通知します。
 - ◇ **返信通知メール** : 提出したレポートや小テストの解答、レビューシート等にコメントがついた場合にメールにて通知します。
 - ◇ **リマインダーメール** : 未提出の課題などがある場合に提出(解答)期限が指定された日数前に迫った時点でメールにて通知します。 **【5月中旬リリース予定】**
- 各メールの受信に関する設定は「**個人設定画面**」にて変更することができます。

➤ レポート、小テスト、学習状況の各画面から送信可能なメールについても緊急あて先への送信を指定できるようになりました。【教】

➤ メールを送信履歴および既読状況を参照できるようになりました(メールに記載された URL を受信者がクリックすることにより既読となります)。【教】

5. 画面レイアウト/インターフェース改善

- 2行にわたり表示していた項目を1行で表示するとともに、余分な空白を除去することにより冗長構成を改善しました。
- フォルダの開閉を同一画面上で可能とすることにより一覧性を向上させました。
- 各登録画面のボタンは画面の上下に表示するようにしました。
- 「戻る」ボタン押下時に直前に表示していた位置に戻るよう改善します。 **【5月中旬リリース予定】**

【講義一覧画面】 「+」「-」ボタンで開閉可能



6. 入力機能の改善

画面から入力を行う際のエディタが多機能になりました。

(Powered by openWYSIWYG)

- 選択可能な文字色、背景色が大幅に増えました。
- 文字装飾結果を入力画面上で確認することが可能となりました。
- 文中への画像挿入や複数画像の横並び表示が可能となりました。
- 文中へのリンクの挿入や複数のリンク表示が可能となりました。
- HTML モードに切り替えることによりタグの利用も可能です。
- 長い文章を入力する際には、書き込み領域を一時的に拡張することも可能です。

【入力画面】



*改行すると1行分の空白ができます。「Shift+Enter」による改行で空白を除去することが可能ですが、文字装飾

7. 小テスト機能強化【教】

- 時間制限付小テストの設定が可能となりました。時間制限はテスト全体に対する設定と、各設問ごとの設定が選択できます。
- 合格点を設定し、自動的に合否判定をおこなえるようになりました。
- 再受験を可能とする設定ができるようになりました。合格点の設定とあわせて「不合格の場合のみ再受験可能」といった運用も可能です。
- 複数選択問題および穴埋め問題において、部分点を設定することが可能となりました。
- 設問データを CSV ファイルにより一括でアップロードできるようになりました。
- 小テストに新たな解答があった場合に、メールにて通知を受け取る設定が可能となりました。

8. レビューシート

新機能「レビューシート」を追加しました。授業における教員と学生のコミュニケーション活性化を支援します。

- 各講義における感想等を学生が入力し、教員はそれに対するコメントを登録することができます。
- 学生が各講義における「理解度(5段階)」を登録し、教員がそれを参照することができます。
- レビューシートに対する採点結果を評価要素のひとつとして評価の自動計算をおこなうことができます。【教】

【レビューシート画面】



9. コピー機能強化【教】

- コピー時に、各期間、名称、担当教員などを変更することが可能となりました。
- 基準日を設定することにより、コピーする対象のコンテンツに設定された各期間を再計算してコピーすることが可能となりました。例えば科目内のコンテンツを複数選択し、翌年度担当科目に一括してコピーする場合など、各期間を翌年度の期間に一括で更新した上でコピーすることができます。

10. 検索機能強化 【5月中旬リリース予定】

- 同一科目内の複数のコンテンツをキーワードなどにより検索することが可能となりました。
- レポート、小テストなどの画面から提出者(解答者)を検索することができるようになりました。【教】

【検索画面】

【その他の変更点】

機能	対象	変更内容
権限設定	教員	担当教員/講義担当/教育コーチ/メンター/履修者/ゲスト/といった利用者の属性を指定して権限を設定することが可能となりました。
お知らせ	全員	お知らせフォルダのアイコンを変更しました。お知らせの未読既読がアイコンでわかるようになりました。
	全員	お知らせフォルダ内では、未読のお知らせのみを表示し、さらに画面遷移しないと既読のお知らせを見れませんでした。お知らせフォルダをクリックした画面に既読のお知らせも表示するようにしました。(既読未読はアイコンで判別可能です)
	教員	お知らせフォルダが作成出来なくなりました。 お知らせフォルダは科目につき1つのみ(自動で作成)とします。
	教員	レポートや小テストなどを作成する際に、同時にお知らせを掲載することが出来るようになりました。
	教員	お知らせをメールで送信した場合、受信者がメールに記載された URL をクリックすることにより履歴画面にて既読状態が確認できるようになりました。
担当教員一覧	履修者	講義一覧(科目一覧から科目名をクリックして表示される画面)の担当教員名をクリックすると「担当教員一覧」が表示されるようになりました。担当教員一覧では担当教員の公開プロフィールの参照、研究者 DB の参照などが可能です。
フォルダ	教員	フォルダが作成できるようになりました。複数の講義フォルダをまとめて1つのフォルダに保管することなどが可能です。
レポート	教員	期限後の提出を受け付ける設定が可能となりました。期限を過ぎて提出されたレポートは「期限後提出」として表示されます。
	教員	配点の設定が可能となりました。
	教員	新規提出があった場合、メールで通知を受け取ることが可能となりました。
ディスカッション	全員	返信時のタイトルが「Re:XXXXXX」と表示されるようになりました。(Re を複数重複して表示しない)
	全員	返信画面に該当スレッドがツリー表示されるようになりました。返信画面から同一スレッド内の他の投稿文を参照することが可能です。
コメント	全員	コメント入力画面で、他のコメントを含めたツリー表示を行うようにしました。コメント入力時に関連するコメントを参照することが可能となります。
グループ管理	教員	CSV データによる一括登録が可能となりました。
学習状況管理	教員	バックナンバー期間中に参照したコンテンツに対する点数設定が可能となりました。
ToDo リスト (旧未受講・未提出一覧)	全員	名称を未受講・未提出一覧から「ToDo リスト」に変更しました。
	全員	リストに表示する課題の種別を「個人設定」にて指定することが可能となりました。

Course N@vi は「進化するシステム」として今後も利用者の要望を取り込みながら授業運営をサポートします。

Course N@vi に関するご意見、ご要望は ITC ヘルプデスクまでお寄せください。

Course N@vi のバージョン表記について：

2008年4月より「Course N@vi A.B.C」と表記

A:メジャーバージョン、B:マイナーバージョン(機能追加/仕様変更)、C:バグフィックス(不具合修正)

以上